

## 令和4年度 第1回 習志野市いじめ問題対策連絡協議会 議事録

### 1 日 時

令和4年7月26日(火) 青少年問題協議会終了後～15時45分

### 2 開催場所

習志野市役所3階 大会議室

### 3 出席者氏名

出席委員: 小熊隆委員(会長)、宮本泰介委員(副会長)、藤崎さちこ委員、庭野英雄委員、杉戸一寿委員(欠席、代理で田中由佳副所長出席)、前野美保委員、鈴木美保委員、太田元幸委員、高橋君枝委員、高橋勝委員、鈴木和弘委員、央重則委員、廣瀬博委員、佐々木秀一委員、五十嵐久仁委員、吉田昌之委員、植草洋子委員、加川美奈子委員、浅田和子委員、大崎栄貴委員、井上聡子委員、島本博幸委員、小平修委員、菅原優委員(敬称略)(23名)

欠席委員: 佐々木秀一委員、松濱幸子委員 2名 (敬称略)

出席職員: 蓮学校教育部長、本間学校教育部副参事(指導課長事務取扱い)、近藤指導主事、小野指導主事、伊藤指導主事、河村指導主事

傍聴者 : 1名

### 4 協議会内容

開会

会長挨拶

副会長挨拶

#### ① 会議録の作成と署名委員について

#### ② 議事

【報告事項】

報告(1) 1学期いじめアンケートの結果と考察

報告(2) 匿名相談WEB アプリについて

#### ③ その他

事務局より

閉会

## 5 議事録(要点筆記)

### 開会

事務局より、設置条例により会長、副会長は教育長、市長をもってあてることや協議会の目的等を説明する。

会長(教育長)あいさつ

副会長(市長)あいさつ

### 会長

25名中23名の出席。設置条例により委員の半数以上が出席のため、協議会が成立していることを伝える。

本会議は原則として公開することとしており、傍聴を許可している旨を説明し、了承を得る。

「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」に基づき、会議録を作成する。会議録署名人には高橋君枝委員と高橋勝委員を指名する。

### 報告事項

#### 会長

報告(1)「1学期いじめアンケートの結果と考察」について、事務局より報告を求める。

#### 事務局

1学期いじめアンケートの結果と考察について事務局から報告する。(以下、資料に沿って報告)

#### 会長

説明を一通り終わった後、その後それぞれの立場から質問、報告等をお願いする。

続いて報告(2)匿名相談 WEB アプリについて説明を求める。

#### 事務局

匿名相談 WEB アプリについて事務局から説明する。(以下資料に沿って報告)

#### 会長

廣瀬委員から浅田委員まで本日の感想、御意見、質問などをお願いする。

#### 委員

いじめの問題を聞くと、社会情勢と結びついていると思う。社会情勢に合わせて、不適切な言葉を使った差別をしてほしくない。

#### 委員

いじめの解消とはどういうことを指して解消とみなしているのか。

いじめの認知が増えているのはなんでだろうか。WEB アプリのメールがあれば、いじめの認知件数などの減少に比例していく効果があってもよいのではないかと。1学期だから効果はないかもしれないが。

**委員**

WEB 相談アプリはいい取組だと思う。小学生で相談の件数が高学年で高いのが興味深い。高学年の方がいじめメール相談件数が多い。

**委員**

会議の前半の大切な人を守る宣言でいろいろ考えるところがある。大人でも事実、差別はある。小学校低学年の段階で思いやり、人を大切にする気持ちの醸成は本当に大切であり、きちんとやっていく必要がある。匿名メール相談 WEB アプリに関しては期待しているので、よろしくお願ひしたい。

**委員**

いじめに関しては、いつの世も収まらない。1対1でいじめをやっているのか、1対多数でいじめがあるのか、教えて欲しい。いじめられる児童生徒へのケアはもちろんあると思うが、いじめる児童生徒へのケアはあるのか。その人が嫌なのか、それとも家庭的に嫌なことがあっていじめをするのかが、興味深い。教えて欲しい。

**委員**

いじめの進行を止めるのはいいと思うが、通過してしまうと自殺や不登校につながる。このような重大事態は、習志野市ではどのくらいあるのか教えて欲しい。

**委員**

いじめの相談の形は直接先生や養護の先生に相談できることは良いことであると考えられる。いじめの発信ができるツールが増えていることも良いことである。一方で、本人が助けをもとめられるか、そのような力を醸成できるかが大切。幼少期の頃から、嫌なことは嫌だと言う、助けを求め、相談するなどの力を家庭で醸成していけるようにしなくてはいけない。

**委員**

習志野市の取組について、大変参考になった。傍観者を仲裁者に変えるという考え方も非常に参考になった。法務局でも、子どもの人権 SOS ミニレター事業を行っている。匿名メール相談 WEB アプリなどのように児童生徒の相談窓口が広がることは大変心強い。今後も関係機関との連携をしっかりとっていき、法務省ともぜひ連携がとれるようよろしくお願ひしたい。

**委員**

学年別のいじめの認知件数が3年間で増加傾向なのは、取組の陰でいじめが増えていと認識した方が良いのか、年々増加している傾向なのか、それともここ3年コロナの前と比較するとどうなのかわかることがあれば教えて欲しい。

**委員**

習志野市のいじめ問題対策の取組は非常に先進的だなと感じている。警察が取り組むべき事象は、緊急性の高い案件。制度的に匿名性が高いメール相談ということであり、投稿した本人を特定できる状況があるのか、開示できるなら教えて欲しい。

**委員**

昔と比べると大変な社会情勢や環境の中で今の児童生徒が暮らしているなと思う。匿名メール相談 WEB アプリを大変注視して期待している。傍観者を無くす、自己解決力を伸ばすということはとても難しい。大人でも傍観者になってしまう。傍観者にならずに、自己解決力を伸ばすことを課題として取り上げ、どのように具体的に育てていくか注視している。いじめは起こってしまったら、難しい。いじめをさせない、しない社会が大切であると思う。

**委員**

4、5年前と傾向が変わっているのかなと感じた。下がり方が急激になっているように思う。低学年が増え、中学生が減っているのか。コロナの影響で何がかわっているのか、興味深い。匿名メール相談 WEB アプリについては大変良い取組だと思う。匿名なので、不特定多数なのでタイミングが遅れた、対応が遅れたなどがあると困る。大変だが頑張りたい。

**委員**

いじめ問題に取り組んでいただきありがたい。本来いじめの問題は家庭の問題である。保護者一人一人が、小さい頃からしっかり心を育てていくことが大切。いじめは自分たちで解決していくんだという意識が大切。PTA できることは少ないかもしれないが、保護者に責任はあると思う。一緒にやれることはしっかりやる。匿名メール相談 WEB アプリで言いにくいことが言えるような状況になったことがとてもよいと思う。

**委員**

(私達は)子どもよりも母親に接することが多い。家庭内の支援をしている。コロナ渦でその接する機会が減ってしまい、電話対応だけや10分だけの話になってしまっている。家庭でもきちんと話し合っていかなければいけない問題だと思う。匿名メール相談 WEB アプリはとてもいい取組だが、今後どのようにしていくか気になっている。いじめられる側の対応はもちろんだが、いじめる側の性格や家庭環境も調査対象にしていただけといいと思う。

**委員**

大人同士がいじめをしている小集団、グループがあり、差別をしている。不登校があつて自殺が、増えている新聞記事などでも出ていて、残念に思う。子ども会で働いている私達は遊びの世界が中心。児童生徒を笑顔でほめる、「ありがとう」、「来週会えるの楽しみにしてるよ」と言うと、笑う。大人のこういう関わりが大切だと思う。子供会でもキャンプなども行っている。引き続きよろしく願います。

## 委員

児童生徒にとって聞いてもらう場が増えることはとても良いと思う。人権教室ではグループ討議で直接声を聴いている。「こんなことあったんだよね。」と担任以外の大人にぼそっと声を出せることが大切。予防的なことも大切。学校はいろいろなことが求められて大変だと思うが、いじめに関しては嫌なことを嫌という権利があることを教えて欲しい。理不尽なことには嫌だと言って、相談したりして子供側が嫌なものを嫌だといえる権利を大切にすることを人権教室でも教えている。学校で個別の教育相談を確保することは難しいと思うが、どのような状況か聞かせて欲しい。

## 副会長

匿名メール相談 WEB アプリは「その他」の件数が最も多いが、その他の内容、現状と課題を教えて欲しい。

## 質疑応答

### 会長

時間に限りがあるので端的に事務局が答え、詳しい部分に関しては担当に会議後、質問をお願いします。質問への回答を事務局に求める。

### 事務局

いじめアンケートの解消に向けてということに関しては、アンケートをもとにして担任が面談をして、書いた子どもに事実を確認し、それぞれの話を聞き、納得する形で進めている。次のアンケートで解消したか確認をしている。

アプリに関しては、中学校6月、小学校は5月に導入をした。アプリの中身に関してはたくさん相談を受けている。相談されたら、「こういう時はこういう風に考えるけれど、あなたはどうか」と問い返すような形で返信している。子供たちが自分たちの力で解決できるように返答をしている。「どうすれば成績があがりますか。」「友達と仲良くするにはどうすればよいか。」などの内容もある。子供の悩みを聞き取り、ここに相談できる人がいるんだよということが伝わるようメールに対して返信をしている。特定に関しては学校名と学年がわかる。

学校の未然防止活動、体験活動、道徳の授業を通して、いじめをしている側、いじめをされた側のそれぞれの気持ちを考えて多面的、多角的に考えることが大切だと考えると回答。

### 会長

いただいた貴重な御意見・御提言を真摯に受け、習志野市教育行政の発展に努めていく。なお、皆様の御協力により、本協議会がスムーズに進行できましたことにつきまして、心よりお礼を申し上げます。事務局よりその他、事務連絡をお願いします。

事務局

いただいた御意見、御提言にあつては、今後の、教育行政にしっかりと反映できるよう努めていく。今後とも、引き続きの御指導、御鞭撻を賜りますようお願いしたい。

第2回は、1月24日火曜日15時プラッツ習志野で予定している。

会長

今日の内容については、所属各団体で周知をお願いする。以上をもって令和4年度第1回習志野市いじめ問題対策連絡協議会を終了する。

閉会

6 所管課名

教育委員会学校教育部 指導課

電話番号 047-451-1132

FAX 番号 047-452-0786

議事録署名人 高橋 勝

議事録署名人 高橋 昌枝